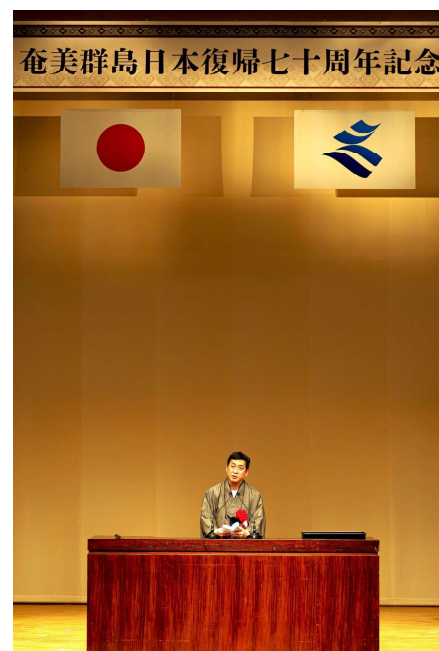


## 〔奄美・離島の振興〕

- \* 関係国会議員や県議会、地元市町村と一体となって法延長の実現を強く国に働きかけ、奄美群島振興開発特別措置法の延長実現（R6.3）
  - 輸送コスト支援や運賃軽減の拡充等による沖縄との連携策の強化を図るほか、教育及び文化の振興に関する事業の追加や、農業振興を図る関連事業全般を幅広く対象にすることなど、制度が拡充
  - 新たな奄美群島振興開発計画の策定（R6.6予定）
- \* 奄美群島振興交付金を活用し、航路・航空路運賃の軽減や農林水産物等の輸送コスト支援、観光拠点施設の整備のほか、市町村等による地域の裁量に基づく産業振興等の取組への支援などを実施
  - 奄美群島振興交付金 約108億円（R2～R5）
- \* 沖縄と奄美群島との間の交流の一層の拡大を図るため、住民等の往来の円滑化や観光振興など本県、沖縄県及び奄美群島広域事務組合の間で連携協定を締結（R5.8）
- \* 改正離島振興法の成立を受けて、ジェットフォイルの更新の支援要請、小規模離島に対する支援の実施を盛り込んだ新たな離島振興計画を策定（R5.6）
- \* 特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用し、航路・航空路運賃の低廉化や農水産物等の輸送コスト支援などを実施
  - 特定有人国境離島地域社会維持推進交付金 約23億円（R2～R5）
- \* 特定離島ふるさとおこし推進事業により、自然条件等が特に厳しい離島地域における産業の振興や生活基盤の整備を支援
  - 特定離島ふるさとおこし推進事業 県事業費約31億円（R2～R5）
  - 島内に車検場のない島民の負担の軽減を図るため、島外車検時の車両航送料の支援を行えるよう補助対象に追加（R6～）
- \* 奄美群島が日本復帰を果たして70周年の節目を迎えることから、歴史的事実を後世に伝えるとともに、奄美の自立的発展へ向けた気運の醸成を図るため、記念式典及び祝賀会を開催（R5.11）
- \* 奄美群島で実施される国体競技に「奄美群島日本復帰70周年記念」の冠称を付与
- \* 屋久島世界自然遺産登録30周年を記念して、屋久島の魅力を改めて発信し、自然環境の保全と利用の両立について考える記念シンポジウムを開催（R5.11）



奄美群島日本復帰  
70周年記念式典

## 〔離島・へき地医療の充実〕

- \* 離島における遠隔医療設備整備やへき地診療所、へき地医療拠点病院の運営・設備整備に対する支援
  - 三島村、十島村、鹿児島大学病院等の遠隔医療設備整備に対する補助（R2～R5）
  - 運営補助実績 59件、8億66百万円（R2～R5）
  - 設備整備補助実績 13件、64百万円（R2～R5）
- \* 鹿児島県ドクターヘリ、奄美ドクターヘリの安定的な運航【再掲】
- \* 与論島に沖縄県ドクターヘリの出動要請が可能となるよう同県と協定を締結（R4.6）【再掲】
- \* 離島急患の搬送を担ってきた海上自衛隊鹿屋航空分遣隊の廃止に対応するため、防衛省本省への要望や自衛隊の関係部隊等との協議を重ね、熊本、宮崎、沖縄、鹿児島の自衛隊等が連携した体制を構築（R5.1）【再掲】
- \* 無歯科医地区の住民を対象とした歯科巡回診療を実施するとともに、巡回診療車「こじか号」を更新（R4.3）
- \* 医師の総数を確保しつつ、地域的偏在を解消するため、鹿児島大学医学部と連携し養成した地域枠卒の医師について、離島・へき地医療機関等に配置 → 配置人数 延べ177名（R2～R5）【再掲】

## 6 アジア中核都市の実現

アジアに近いという地理的優位性、豊かな自然、食、伝統と文化など、本県のすばらしいポテンシャルを生かし、観光客など人が活発に往来し、県産品などの物や有益な情報がアジアと本県の間で行き交い、街がにぎわいや活気にあふれるよう様々な取組を推進

### [交通インフラの整備]

#### \* 高規格道路の整備

##### 東九州自動車道

- ・ 鹿屋串良JCT～志布志IC開通 (R3.7)
- ・ 油津・夏井道路 (夏井～県境) 着工 (R4.10)
- ・ 隼人道路 (加治木IC～隼人西IC) 4車線化 (R4.11)
- ・ 国分IC～末吉財部ICのうち一部区間について4車線化着手 (R6.3)

##### 南九州西回り自動車道

- ・ 阿久根川内道路 (薩摩川内水引IC～湯田西方) 着工 (R2.12)
- ・ 鹿児島道路 (伊集院IC～美山IC) 4車線化着工 (R4.10)

##### 都城志布志道路

- ・ 有明志布志道路 (有明東IC～志布志IC) 開通 (R3.2)
- ・ 金御岳工区・末吉道路 (金御岳IC～末吉IC) 開通 (R3.3)

##### 北薩横断道路

- ・ 広瀬道路 (さつま広橋IC～佐志IC) 開通 (R6.3)



北薩横断道路「広瀬道路」開通

#### \* 鹿児島港のマリンポートかごしまに22万トン級のクルーズ船に対応した新たな岸壁を整備【再掲】

- 本県初となる大型クルーズ船2隻が同時寄港 (R5.3)
- 鹿児島港本港区北ふ頭と合わせクルーズ船3隻が同時寄港 (R6.3)

### [国際路線の拡充]

#### \* グランドハンドリング会社など空港関係者の支援による空港の受入体制の確保や、航空会社への働きかけを行った結果、鹿児島空港国際定期路線が再開【再掲】

- 香港エクスプレス航空 (香港線) の定期便再開 (R5.6)
- 大韓航空 (ソウル線) の定期便再開 (R5.10)  
定期便増便 (週3便→週5便) (R6.9予定)
- 香港航空 (香港線) の定期便再開 (R6.3)
- チャイナエアライン (台北線) の定期便再開 (R6.5)
- 中国東方航空 (上海線) の定期便再開 (R6.7予定)



#### \* 将来的な定期便就航に向けて、県、ベトナム航空、(株)エイチ・アイ・エスの3者で連携協定を締結 (R5.11)

- ベトナム航空による鹿児島～ハノイ間のチャーター便の運航 (R6.3) 【再掲】

### [鹿児島港本港区エリア一帯の利活用]

#### \* 鹿児島港本港区エリア一帯の利活用について、まちづくりや都市計画等の専門的な知見を有する方々で構成される「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」において、検討を実施 (R4.12～R6.1)

#### \* 「鹿児島港本港区エリアの利活用に係る検討委員会」において取りまとめられた鹿児島港本港区エリアコンセプトプラン (案) を基に、県民からの御意見や県議会での御論議を踏まえ「鹿児島港本港区エリアコンセプトプラン」を策定 (R6.3)

#### \* 鹿児島港本港区エリアコンセプトプランに基づくまちづくりを推進するため、県や鹿児島市、関係団体により構成する懇談会を設置し、情報共有や意見交換を行いながら、エリアコンセプトプランの具体化に向けた取組を開始 (R6.5～)

#### \* 鹿児島港本港区エリアにおいて良好な景観形成を図るため、景観等の所管行政関係者や、建築・デザインの有識者で構成する「鹿児島港本港区エリア景観・デザイン調整会議」を設置し、桜島の眺望やまちなみ景観など景観形成の基本的な方向性を示す「鹿児島港本港区景観ガイドライン」を策定 (R5.12)

## 〔文化・芸術の振興〕

- \* 第47回全国高等学校総合文化祭（2023かごしま総文）の開催  
「47の結晶 桜島の気噴<sup>いぶき</sup>にのせ 紬<sup>つむ</sup>げ文化の1ページ」の大会テーマのもと、高校生による国内最大規模の文化芸術の祭典である「全国高等学校総合文化祭」を開催  
参加者数 約17千人 観覧者数 約92千人
- \* アジアを代表する音楽祭「霧島国際音楽祭」の開催  
→ 国内外の一流演奏家によるコンサート  
→ 若手音楽家のためのマスタークラス（講習会）
- \* 島唄を観光素材とした誘客を図るため「ほこらしゃ奄美音楽祭」を開催（R5.2, R6.2）【再掲】
- \* 霧島アートの森の特別企画展や宝山ホールの舞台公演など良質で多様な文化芸術の鑑賞機会を提供
- \* 第70回記念県美展，第72回南日本音楽コンクールなど県民の多種・多様な文化芸術活動を幅広く支援（共催・後援・助成等）
- \* 県歴史・美術センター黎明館の開館40周年記念展覧会等の開催（R5）
- \* 鹿児島城跡を中心に歴史・文化ゾーンのにぎわい創出イベント等を開催（R2～R5）
- \* 霧島神宮の国宝指定（R4.2），鹿児島神宮の国の重要文化財指定（R4.2），鹿児島城跡の国史跡指定（R5.3）等を機とした魅力や価値の情報発信
- \* 国宝霧島神宮の保護・活用を図るため，霧島神宮が実施する本殿や幣殿，拝殿他2棟の防災工事に要する経費を支援



第47回全国高等学校総合文化祭



第44回霧島国際音楽祭

## 〔国際交流の推進〕

- \* 県内に住むベトナム人技能実習生や留学生等に，テト（旧正月）を祝い，故郷を懐かしんでもらう「ベトナム・テト（旧正月）フェスタ」を開催（R3.2, R4.2, R5.1, R6.2）
- \* ベトナムハイズオン省を訪問し，連携協定に基づく安定的な人材の受入れや農業分野での技術協力などに関する意見交換を行ったほか，新たにベトナム国立農業大学と人材確保・育成等に関する連携協定を締結（R5.7）
- \* ブラジル鹿児島県人会創立110周年記念式典の開催に伴い，本県から訪問団を派遣し，関係者の永年の御労苦をねぎらい友好親善を図るとともに，県人会及び県費留学生・海外技術研修員OB等との意見交換を実施（R5.8）
- \* 第21回鹿児島・シンガポール交流会議を鹿児島にて開催し，経済，観光，青少年，芸術文化などの8つの交流プログラムを継続していくことで合意（R5.11）
- \* 第22回及び第23回鹿児島・香港交流会議を開催し，芸術文化，青少年，経済，観光などの交流を継続していくことで合意（R3.3, R5.3）
- \* 中国清華大学と経済，青少年，学術などの分野における交流継続を内容とする3期目のMOUを締結（R5.12）
- \* 台湾屏東県を訪問し，屏東県知事と今後の交流促進について協議するとともに，同県と青少年，芸術・文化，観光，経済などの各分野において交流を図るMOUを締結（R6.1）
- \* 沈壽官窯 名誉総領事館 全羅北道 展示記念式の開催に伴い来鹿された韓国・全羅北道知事等の歓迎夕食会を実施し，鹿児島黒牛や本格焼酎などの県産品のPRを実施（R4.12）



台湾屏東県とのMOU締結

## [スポーツの振興]

- \* 特別国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」・特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」の開催  
「コロナ禍からの再生と飛躍」を象徴する大会を目指し、観覧者の人数制限等がないコロナ禍前と同様の大会を開催  
参加者数 約74万人
- \* スポーツを通じた交流人口の拡大や地域活性化を図るため、県内に本拠地を置くプロスポーツチーム等を支援
- \* スポーツ合宿等誘致の機能強化を図るため、相談窓口の一本化や合宿希望者が施設検索・情報収集等を行うことができるホームページ等を開設 (R5.10)
- \* プロや社会人、大学の野球のトップチームがカテゴリーの枠を超えて対戦する「薩摩おいどんカップ」の開催を支援【再掲】



燃ゆる感動かごしま国体総合開会式



燃ゆる感動かごしま大会開会式

## [スポーツ・コンベンションセンターの整備]

- \* 現在の県体育館が築後60年以上経過していることや、一定規模以上の大会や全国大会等の開催にとって狭隘であるという課題があることを踏まえ、場所ありきではなく、施設の機能、規模、構成等について「総合体育館基本構想検討委員会」において検討 (R2.10~R4.1)
  - ・ 同委員会において、スポーツ振興の拠点としての機能に加え、コンサートなど多目的利用による交流拠点機能を有する施設としてのコンセプトを取りまとめ
  - ・ 整備候補地については、離島や大隅地域をはじめ県土全域からの交通利便性などを踏まえると、鹿児島市に立地することが望ましいとされた
  - ・ その上で、候補となり得る土地を選定し、交通利便性や宿泊施設の集積、経済波及効果など、12の客観的評価基準に基づき評価していただいた結果、ドルフィンポート跡地と住吉町15番街区を一体的なエリアとして検討することとされた
  - ・ 整備候補地が鹿児島港本港区エリアとされたことを受け、同エリアにふさわしい施設として、基本構想案に盛り込んでほしい事柄等について、県民の皆様へ意見募集を実施
  - ・ そこで寄せられた景観への配慮や防災、渋滞への懸念等の御意見を踏まえ、基本構想案を策定
  - ・ その上で、パブリックコメントを実施し、再度、県民の皆様の御意見を伺い、県としての考え方を整理
- \* 基本構想案について県議会において御論議をいただき、スポーツ・コンベンションセンターの整備についての御了承を得て基本構想を策定 (R4.3)
- \* スポーツ・コンベンションセンターに係るPFI等導入可能性調査などを実施し、同センターの整備・運営手法については、PFI方式（民間活力を活かした施設整備・運営）の導入が最適とした最終報告を公表 (R4.5~R5.2)
- \* PFI事業者の選定に向け、県内外の各分野の専門家を構成員とする「スポーツ・コンベンションセンター整備運営事業者選定委員会」を設置 (R5.9~)
- \* 同センターの事業費については、約313億円を見込んでおり、これに係る債務負担行為を令和6年度当初予算に計上し、県議会で可決 (R6.3)
- \* PFI事業者の募集・選定に係る入札公告を実施 (R6.4)